

自国を売り込むツアー企画プロジェクト

【旅行観光業】

活動冊子

ver. 2.0



監修

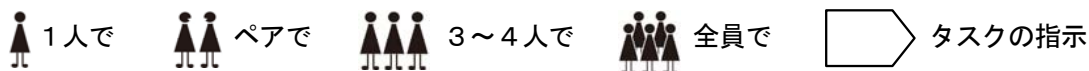


財団法人 海外技術者研修協会

学習スケジュール

| | | |
|---------------|------------------------|----|
| Part 1 | オリエンテーション | |
| 第1回 | 旅行業について考えよう | 3 |
| Part 2 | 基礎知識の習得 | |
| 第2回 | 旅行業の基礎知識を知ろう | 6 |
| 第3回 | 旅行業・ビジネスパーソンの講演を聴こう | 9 |
| Part 3 | 情報収集について学ぶ | |
| 第4回 | マーケティングについて知ろう | 11 |
| 第5回 | 旅行・観光情報を収集し分析しよう | 13 |
| Part 4 | 商品を企画する | |
| 第6回 | パッケージツアーを企画しよう | 15 |
| Part 5 | 情報を収集する | |
| 第7回 | 商品企画のための調査をしよう (1) | 18 |
| 第8回 | 商品企画のための調査をしよう (2) | 21 |
| 第9回 | 調査をまとめよう | 23 |
| Part 6 | 宣伝方法について学ぶ | |
| 第10回 | 販売促進 (プロモーション) について知ろう | 25 |
| 第11回 | 企画書をまとめよう | 27 |
| Part 7 | 企画発表の準備をする | |
| 第12回 | ツアー企画発表の準備をしよう | 29 |
| 第13回 | ツアー企画発表のリハーサルをしよう | 32 |
| Part 8 | 企画発表をする | |
| 第14回 | ツアー企画発表のプレゼンテーションをしよう | 33 |
| Part 9 | 評価 | |
| 第15回 | 評価・振り返りをしよう | 35 |

アイコンについて：それぞれの内容に合わせて、活動のサイズをアイコンで示しています。各項目の指示に合わせて、活動を進めて下さい。



Part 1 オリエンテーション

第1回 旅行業について考えよう

◆この回の目的・目標

1. 効果的な自己紹介をする。
2. プロジェクトの全体像を理解する。
3. グラフの読み取りを通して旅行について考える。

1. 自己紹介をしよう

【課題1】

自分を印象付ける工夫をしよう！



1分程度の自己紹介文を考えて下さい。

ヒント：名前の読み方・出身地・将来の目標・他の人に話したい趣味

【課題2】

自己紹介をしよう！



1分以内で自己紹介をして下さい。

2. オリエンテーション コース全体を把握しよう！

コース全体のスケジュール

| 回 | テーマ | 活動及び読解教材 (『 』は読解教材) | ビジネス 文書 | 備考 |
|--------|-----------------|---|------------|---|
| 1 | 旅行業について 考えよう | 自己紹介 オリエンテーション | | パンフレット収集と ウェブサイトの情報 収集（第5・6・10 回に使用） |
| 2 3 | 基礎知識の習得 | 『旅行業の入門』 講演を聴く | | |
| 4 5 | 情報の収集につ いて学ぶ | 『マーケティングって何だろう』 『マーケティング調査について』 パンフ、ウェブサイトからの情報収 集、分析を行う | | グループ分け (第5回) |
| 6 | 商品を企画する | 『狙いは企画書』 ブレインストーミングでアイディ アを出し、新ツアー企画を創出する | 議事録 | |

| | | | | |
|-------------|------------|--|--------------|--|
| 7 8 9 | 情報を収集する | 『アンケートの作成と調査実施について』 インタビューを実施する 『データの分析について』 | 調査依頼文 報告書 | |
| 10 11 | 宣伝方法について学ぶ | 『販売促進と広告』『採用される企画書を書くには』 チラシ作り | 企画書 | |
| 12 13 | 企画発表の準備をする | 『プレゼンテーションのポイント』 | | |
| 14 | 企画発表をする | プレゼンテーションを実施する | | |
| 15 | 評価 | コース全体を振り返る | | |

1) PBL とは？

Project-based Learning (プロジェクト・ベースト・ラーニング)

教室の中で、教師からの知識を受動的に得るだけでなく、プロジェクトの完成に向けて主体的に活動することで、知識・スキル・問題解決力などを総合的に高めることが狙い。

2) テーマプロジェクト型研修の目的

基礎知識の習得 →ブレインストーミング → 情報収集・調査・報告・企画 → 発表 → 評価・振り返り

今回のプロジェクトの流れは、企業が新商品を企画立案するときの流れに沿ったものである。このプロジェクトを通して、仕事の流れを覚え、企画・提案するための力を培い、企業の求める「ブリッジ人財」としての力を養う。

3) 「自国を売り込むツアー企画プロジェクト」の目的

- (1) 知 識 … 自国の観光業の実態
日本の旅行観光業に関する基礎
マーケティング／ニーズ調査の基礎
- (2) ス キ ル … ブレインストーミング
情報収集力（新商品企画のための必要な情報の収集）
アンケート質問票・インタビュー項目作成
調査実施のための言語的スキル
発表資料作成・報告書作成のための言語的スキル
プレゼン資料作成のための PC スキル
- (3) 問題解決力 … 情報分析力
企画立案する力
課題構造化力・構成員力
協働で動く力

3. 旅行観光業の資料を読み解こう

【課題3】

旅行について、グラフから覗いてみよう！→リソース集 (pp. 3-5)



1. 図1「日本人海外旅行者数の推移（1975～2008年）」を見て、日本人旅行者数ほどどのような要因に左右されるか考えて下さい。
2. 図2「旅行に期待すること」を見て、旅行の目的にどのような傾向が見られるか考えて下さい。
3. 図3「旅行関連の支出」を見て、旅行費用の傾向がどのように変化してきているか考えて下さい。

【宿題】

- ・興味を引く旅行のパンフレットやチラシを集めて下さい。
- ・自国の政府観光局・大使館などのウェブページなどから、自国の観光リソースにどのようなものがあるか把握して下さい（第5回の旅行種類の分析、第6回の企画会議、第10回のパンフレット作成に必要）。
- ・リソース集の第2回用読解教材 (pp. 6-9)「旅行業入門」、「旅行業界の動向」を読み内容を理解して下さい。

Part 2 基礎知識の習得

第2回 旅行業の基礎知識を知ろう

◆この回の目的・目標

1. 旅行業の基礎知識を学ぶ。
2. 旅行業の近年の動向を知る。
3. 講演を聴く準備をする。

1. 旅行業の基礎知識

【課題1】

リソース集 (pp.6-8) の「旅行業入門」を読み、以下の問いに答えて下さい。

1. 旅行業とはどのような仕事だと考えられているか。
2. 旅行会社を業務別に分けると、どのような仕事の違いがあるか。
3. 旅行会社が企画する商品にはどのようなものがあるか。
4. パッケージツアーはどのように作られるのか。

キーワード：付加価値、ホールセラー、リテラー、手配旅行、企画旅行、
パッケージツアー、オプション、観光素材

2. 旅行業の近年の動向

【課題2】

リソース集 (pp.8-9) 「旅行業界の動向」を読み、以下の問いに答えて下さい。

1. インターネットの普及で変化したことは何か。
2. 顧客ニーズの多様化に旅行会社はどのように対応していけばいいか。
3. 旅行会社が生き残るにはどのようなビジネススタイルを作る必要があるか。

キーワード：サプライヤー、ダイナミックパッケージ、韓流ブーム、ホスピタリティ

3. 「講演」を聴く準備をしよう！

【課題3】

講演者のプロフィールや業界情報を調べて下さい。また、調べた情報を基
にどのような質問をするか考えて下さい。



【宿題】

コラム「こんな旅行ビジネスも」「ビジット・ジャパン・キャンペーン」(活動冊子 pp.7-8)を読み、内容を理解して下さい。

コラム 「こんな旅行ビジネスも」

旅行ビジネスというと一般には個人客対象のものを思い浮かべますが、中にはこんな旅行ビジネスもあります。それは個人対象ではなく、法人需要を対象にした旅行です。

企業では売上げ向上のために様々な販売促進（販促）策を行っていますが、「旅行」を販促に導入した例を紹介します。

4年に1度行われるワールドカップ・サッカー（W杯）は世界的なイベントですが、日本の家電メーカーJ社ではこのW杯のスポンサーを1980年代からやってきました。同社では世界各地の販売店を対象に「W杯招待キャンペーン」を長年行っています。W杯が開催される前年の販売実績が優秀だった販売店を本大会に招待するのです。これは販売店にとって大きなインセンティブになったに違いありません。なかなか自分ではチケットを購入して、現地まで足を運び、決勝戦などを観るのは難しいことですが、このJ社のキャンペーンに入賞すれば、これが実現するのです。世界中の多くの販売店が売上げを伸ばしました。

このケースのように、一企業が多くの販売店などを対象に招待旅行を実施する場合も、旅行のアレンジメントは大手の旅行会社に委託します。これは旅行会社にとっても相当大的なビジネスになりますから、旅行会社の中には法人営業部という法人専門の部門を持っているところもあります。

企業が利用する「旅行」はこの招待旅行のほかに視察旅行、企業内親睦旅行などもあります。

キーワード：法人需要、販売促進（販促）、イベント、インセンティブ、キャンペーン、法人営業部

コラム「ビジット・ジャパン・キャンペーン」

日本人の海外旅行者数（以下アウトバウンド）は1980年代後半から円高、バブル経済により急増し、1990年には1,000万人に達しました。2000年代前半の同時多発テロやSARSの流行で一時伸び悩んだものの、その後順調に回復し、2005年には史上2位の1,740万人を記録しています。

これに対し、訪日外国人旅行者数（以下インバウンド）は低迷を続けています。これは1990年代の円高による旅行価格の高騰、欧米諸国から遠いという地理的条件の悪さ、それに加え、政府がインバウンド振興に積極的でなかったこと、などに起因しています。インバウンドはここ数年、アジア近隣諸国からの旅行者が増えたこともあり、徐々に増加しています。それでも2005年では673万人で、アウトバウンドの約1/3程度にすぎません。

政府はこのアンバランスを是正するために、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を始めました。これは政府、その関連団体と旅行会社等の民間組織が一体となり、2010年までに1,000万人の外国人観光客の訪日を実現させようというキャンペーンです。

インバウンド拡大のため、海外でのプロモーション活動で「日本の観光魅力」を徹底的にアピールする必要があります。地方自治体では「地域」の魅力を発掘し、外国人観光客にとって、魅力ある地域づくりを目指そうとしています。こうした地方自治体の動きに合わせて、旅行会社は単に「アゴ」、「アシ」、「マクラ」の供給だけでなく、地域活性化に向けて、コンサルティング活動に乗り出す動きが出てきています。

■参考文献：

『旅行業入門』（日本国際観光学会編 松園俊志監修、同友館、2005）

『図解入門業界研究 最新旅行業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』（中村恵二、秀和システム、2006）

キーワード： アウトバウンド、インバウンド、コンサルティング活動

第3回 旅行業・ビジネスパーソンの講演を聴こう

◆ この回の目的・目標

1. 旅行業の専門家の講演から専門的知識、最近の動向等を学ぶ。
2. 企画旅行の作り方のポイントを学ぶ。
3. 講演の内容を整理する。

1. 「講演」を聴く

【課題1】

講演を聴いて、シートにまとめて下さい。

講演を聴くためのタスクシート

講演タイトル: _____

講演者: _____

講演者のプロフィール

講演メモ: 重要な点

質問メモ

わからなかった言葉:

質問したい点

- 1.
- 2.
- 3.

Part 3 情報収集について学ぶ

第4回 マーケティングについて知ろう

◆ この回の目的・目標

1. マーケティングの概念を知る。
2. マーケティング調査について知る。
3. マーケティングに必要な情報収集の方法を知る。

1. マーケティングとは

【課題1】

リソース集 (pp. 10-12) 『マーケティング』って何だろう」を読み、次の質問に答えて下さい。

1. マーケティングとはどのような概念か。
2. マーケティングの4Pというのとは何か。
3. マーケティング・ミックスとは何か。
4. 業種によるマーケティングの重点の違いについて説明して下さい。
5. 近年マーケティングに見られる変化はどのようなものか。

キーワード： 市場志向、消費者志向、製品計画、価格政策、販売経路政策、販売促進策、業種別マーケティング、e-マーケティング

2. マーケティング調査とは

【課題2】



リソース集 (pp. 12-13) 「マーケティング調査について」を読み、次の質問に答えて下さい。

1. マーケティング調査の目的は何か。
2. 1次データ、2次データとは、それぞれどのようなものか。
3. 1次データはどのような目的で使用されるか。
4. 調査実施に当たって大切なポイントは何か。

キーワード： 1次データ、2次データ、探索的な調査、妥当性、検証

3. マーケティングに必要な情報収集の方法

講義、およびネット検索などの実習を通して、どこで、どのような2次データを入手できるかを知ろう。

【課題3】

情報収集の段取りを考えよう。



ツアー企画のためにどのようなデータが必要か、グループで話し合おう。また、それらのデータはどこで入手できるか検討しよう。

【課題4】

パンフレットを検討しよう。



既存のツアーの特徴を知るために、収集してきたパンフレットを検討してみよう。どのようなツアーがあり、それらはどのような特徴があるだろうか。

【宿題】

- ・企画に必要な2次データ（日本人のレジャーに対する意識、旅行の実態、日本の旅行業の現状など）を収集して下さい。
- ・自国の観光リソース（大使館や政府観光局のホームページなど、特に日本語以外の言語が使用されているもの）を活用し、これまでにあまり知られていない名所などを探してみよう。

第5回 旅行・観光情報を収集し分析しよう

◆ この回の目的・目標

1. 自国の観光リソースについて知る。
2. 日本人のレジャーに対する意識を知る。
3. 既存のツアーの現状や1～2の活動を踏まえて、新たなビジネスチャンスを探る。

1. 現状を分析する

【課題1】

調べてきた情報を報告し、情報を整理して下さい。

1. 穴場探し

自国の観光資源のうち、まだあまり知られていない名勝にはどのような場所があるか、探してみよう。

2. 日本人のニーズ

日本人のレジャーに対する意識にはどのような傾向が見られるか、属性（年代・性別・家族形態など）別に整理してみよう。

3. ビジネスチャンスを探る

1で検討した自国の観光資源のうち、日本人のレジャーに対するニーズを満たすと考えられるものには、どのようなものがあるだろうか。

2. 企画案を考える

【課題2】

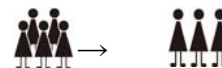
現状分析を踏まえて、ツアーの企画案を考えて下さい。



1. これまでの現状分析を踏まえて、自国を売り込むために、どのような人をターゲットに、どのようなコンセプトの旅行を企画したらヒットするか考え、次ページのタスクシートに企画案を書いてみよう。

※ターゲット→コンセプト→商品名の順に考えるとまとめやすくなります。

2. 各自の企画案を一同に集め、類似するものをまとめて、今後の活動グループを決定して下さい。



タスクシート

ツアーの企画案を考えよう！

学籍番号 _____ 名前 _____

商品名

ターゲット

コンセプト

【宿題】

- ・リソース集の第6回用読解教材（pp. 14-15）「狙いは企画書」を読んでおく。
- ・議事録見本（活動冊子p. 15）を読んで、書き方のポイントを押さえる。

Part 4 商品を企画する

第6回 パッケージツアーを企画しよう

◆ この回の目的・目標

1. 議事録の書き方を知る。
2. 企画書の重要性を学ぶ。
3. グループ内企画会議で企画案を立てる。

1. ビジネス文書議事録

議事録にはどのような項目が必要ですか。下記の議事録のサンプルを見て、書き方のポイントを押さえましょう。

| |
|---|
| 平成〇〇年 2月 20日 |
| <p>新商品開発プロジェクト設立会議議事録</p> <p style="text-align: right;">(作成) 開発課 齊藤 啓太</p> |
| <p>1. 日時 〇〇年 2月 19日 午後 1時 30分～ 3時 30分</p> <p>2. 場所 本社第2会議室</p> <p>3. 出席者 川原常務、鈴木事業本部長、田中開発部長、佐々木人事課長、堀井開発課主任、Cサイエンス研究所 森主任研究員、第一開発課 齊藤 (書記)</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 鈴木事業本部長から中高年向け栄養ドリンク開発に関するプロジェクト設立についての概要説明があり、新年度から下記の通りスタートさせることが全員一致で承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中性脂肪を低下させる作用のある EPA が豊富に含まれる栄養ドリンクの開発を行う。 ・ 主に中高年層をターゲットにするが、肥満児にも対応できる商品とする。 ・ 開発に関しては、全面的にCサイエンス研究所の協力を得る。 ・ 発売は平成〇〇年7月を目標とする。 <p>(2) 当面は第一開発課に準備室を設け、田中開発部長が室長を兼任する。</p> <p>(3) 開発メンバーは、第一開発課員および、課外からの意見も視野に入れるべきであるという堀井主任の提案により、社内公募で数名を加える。社内公募の詳細については、田中開発部長と佐々木人事課長とで3月上旬までに決定する。</p> <p>(4) 予算については、田中開発部長が見積もりを作成し、役員会に提出する。</p> <p>(5) 添付資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本人の EPA (エイコサペンタエン酸) の消費量についてのデータ ② 健康に関する意識調査報告書 <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">以上</p> |

2. パッケージツアーを企画する

【課題1】

リソース集 (pp. 14-15) 「狙いは企画書」を読み、次の問に答えて下さい。

1. 仕事に取り組む際に、必要なことは何か。
2. プロジェクト・ワークで意識しなければいけないことは何か。
3. プロジェクト・ワークのヤマ場はどこにあるか。
4. あなたのチームは、「企画書のストーリー（道筋）」の図で、現時点で、どの部分をカバーしているか。

キーワード： 企画書、決済、市場動向、消費者動向、販売促進策、宣伝媒体

【企画会議】

ブレインストーミング(次のページを参照)を通して“アイデアを集めよう！
まとめよう！”



1. 今まで収集した情報である、「既存のツアー」、「自国の観光リソース」、「日本人のレジャーに対する意識調査」を念頭におき、新しいツアー企画のアイデアをグループで出して下さい。
2. 同じようなアイデアをグループ化し、まとめて下さい。
3. グループ化したアイデアを基に、ターゲット、コンセプトを絞り、新しいツアー企画を考え出して下さい。
4. ツアー企画の商品名を考えて下さい。できればキャッチコピーも考えて下さい。

ヒント：キャッチコピーの例

「Yokoso! Japan」(観光庁 2003 年ビジット・ジャパン・キャンペーン)

「Japan. Endless Discovery.」(観光庁 2010 年訪日観光 PR)

「守ります 人と自然とこの地球」(気象庁)

「ひとつ『働き方』を変えてみよう！」(内閣府 仕事と生活の調和推進室)

*参考「旅に行きたくなる」キャッチコピーBEST10」(JTB 広報室)

http://www.jtbcorp.jp/scripts_hd/image_view.asp?menu=news&id=00001&news_no=948

【宿題】

- ・今日の企画会議の議事録を作成して下さい。

- ・リソース集の第7回用読解教材（pp. 16-18）「アンケートの作成と調査実施について」を読み、自分のチームで調査すべきことを考えて下さい。

解説：ブレインストーミング（ブレスト）

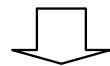
アイデア出し

問題解決すべきテーマについて、自由にアイデアを出し、紙に書き出す



アイデア整理

同類のアイデアをグルーピングする
アイデアを破棄、統合する



アイデア採用

アイデアを創出する

Part 5 情報を収集する

第7回 商品企画のための調査をしよう (1)

◆ この回の目的・目標

1. 調査の狙いを考える。
2. アンケートの作成方法を知る。
3. 調査依頼書の書き方を知る。

1. アンケートを作成する



リソース集 (pp. 16-18) 「アンケートの作成と調査実施について」を読んで、アンケート調査の作成方法について理解し、アンケート項目を作成しよう。今回のアンケート調査の目的は、作成した企画案がターゲットのニーズと合っているかどうかを確認することです。

キーワード： 調査依頼文、フェイスシート、属性、単一回答、多重回答、順序づけ、5件法

【課題1】

リソース集 (p.19) のアンケート回答形式の見本を参考にしてアンケート項目を作成して下さい。

- ・あなたが調査で知りたいことは何ですか。グループで話し合ってください。
- ・回答形式も考えて具体的な質問項目を作成してみよう。
- ・なお、調査は面接調査法を採用する。調査者自身が質問項目を読み上げながら回答してもらおう口頭アンケートとします。

例) 団塊世代の旅行に対する意識・実態

- 団塊世代の人はどんなタイプの旅行をしているのだろうか。
- どのところへ行きたいと思っているのだろうか。
- 旅先でどんなことをしたいと思っているのだろうか。

【課題2】



質問紙のフェイスシートを作成する。

調査対象者の属性についてアンケートで回答してもらいたいことは何か。

フェイスシートに入れる項目を挙げて下さい。

例) 性別

2. ビジネス文書 調査依頼書

【課題3】



調査依頼書を作成する。

下記のひな形を参考にして調査依頼文を書いて下さい。

依頼文には、調査の目的、調査者名、連絡先などの必要事項を必ず入れて下さい。

| |
|---|
| <p>_____に関するアンケートのお願い</p> |
| <p>(挨拶文)</p> <p>この度、_____での学習の一環として、 _____についてのアンケート調査を行うことになりました。</p> <p>今回の調査の目的は_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> |
| <p>調査者名、連絡先など</p> |

【宿題】

1. 調査依頼文・アンケート本体・フェイスシートを完成させる。
2. 「報告書」の例（リソース集 p.20）を読んで、必要項目、書式を押さえる。

第8回 商品企画のための調査をしよう (2)

◆ この回の目的・目標

1. インタビューの依頼の仕方を知る。
2. インタビューを通して、質問紙項目を推敲する。
3. 質問紙を修正し、完成させる。
4. 報告書の書き方を学ぶ。

1. インタビュー調査の準備

【課題1】



リソース集「インタビューのしかた ―開始から終結まで―について」(p.21)を参考に、質問の仕方を検討する。



グループでインタビューの依頼の仕方や質問の切り出し方や質問の仕方を検討して下さい。インタビューの依頼の開始部分、終結部分に特に留意しよう。

【課題2】

インタビューを通して質問紙の適切さをチェックする。

インタビューのロールプレイを通して前回作成した質問紙の適切さ

(この質問で聞きたいことが聞き出せるか) をチェックして下さい。

■ ロールプレイ ■

あなたはパッケージツアーを企画する旅行会社（ホールセラー）の社員です。今回の企画のターゲットとなる顧客にインタビューを依頼し、インタビューを行って下さい。

【課題3】

質問紙を修正する。



インタビュー練習の結果、答えにくい、あるいは引き出したい答えが導き出せないよう

な項目があった場合は修正して下さい。

2. ビジネス文書 報告書 I

【課題4】



下記の報告書の見本を参考にしながら、報告書に何を盛り込むかグループで話し合ってください。

| | |
|---------------------------|------------------|
| | No.ー〇〇 (①文書記号番号) |
| | 〇年〇月〇日 (②発信年月日) |
| 企画部長 (③受信者名 (宛名)) | |
| 〇〇〇〇殿 | |
| | 調査部長 (④発信者名) |
| | 〇〇〇〇 |
| 〇〇ツアーについての調査分析結果報告書 (⑤件名) | |
| (⑥本文) | |
| 1. 調査目的 | |
| 2. 調査期間 | |
| 3. 調査対象者 (調査数も) | |
| 4. 調査方法 | |
| 5. 結果 | |
| | |
| 6. 所感 | |
| 7. 添付資料 | |
| | 以上 (⑦文書末尾) |
| 〇〇部〇〇〇〇 (内線 |) (⑧担当者・連絡先) |
| e-mail | |

【宿題】

- ・ 課題3で修正した質問紙を使い、次回までにできるだけ多くの人にインタビュー

を実施しデータを収集して下さい。

- ・リソース集の第9回用読解教材（pp. 22-29）「データの分析について」を読んで下さい。

第9回 調査をまとめよう

◆ この回の目的・目標

1. 収集したデータの入力や分析方法を知る。
2. 効果的なデータの示し方を考える。
3. 調査報告書を作成する。

1. 収集したデータの分析方法

【課題1】

データ分析について理解する。



リソース集（pp. 22-29）「データの分析について」を読み、データの入力・分析方法について理解して下さい。

キーワード：コーディング、変数、記述統計、度数分布、平均値、最頻値、最大値、最小値、クロス集計、オートフィルター、ピポットテーブル、相関、t検定

2. データの集計と分析

【課題2】

データを集計する。

- ・グループ全員の調査結果を Microsoft® Excel® に打ち込もう。
- ・いくつかの観点からデータを分析し図表にまとめ、その結果について話し合おう。

3. ビジネス文書 調査報告書 II

【課題3】

報告書を作成する。



- ・報告書のアウトラインと挿入する表やグラフを決めよう。
- ・第8回で学習した報告書の書き方に基づいて、今回の分析結果について



報告書を作成しよう。

【宿題】

1. 調査報告書を完成させる（調査結果についての図表も添付する）。
2. リソース集の第10回用読解教材（pp. 30-31）「販売促進と広告」を読んでおく。

Part 6 宣伝方法について学ぶ

第10回 販売促進（プロモーション）について知ろう

◆ この回の目的・目標

1. これまでまとめてきた「ツアー企画」商品を、どのように売り込んでいくかを考える。
2. 販売促進（プロモーション）について学ぶ。
3. 「ツアー商品」のセールス・プロモーションとして、チラシを作成する。

1. 販売促進（プロモーション）について学ぶ

【課題1】



リソース集（pp. 30-31）「販売促進と広告」を読み、次の問いに答えて下さい。

1. マーケティング4Pを挙げてみよう。
2. 4Pの1つである広義の販売促進（プロモーション）にはどんなものがあるか。
3. 狭義の販売促進（セールスプロモーション＝SP）にはどんなものがあるか。
4. 「広告」と「宣伝チラシ」の大きな違いはどこにあるか。
5. 広告を立案・実施する際は、どんな会社が参画して行われるか。

キーワード：販売促進（プロモーション）、4P、広告、PR、宣伝、チラシ、人的販売、ダイレクトマーケティング

2. 広告・宣伝物を分析しよう

【課題2】

市販されているツアー企画商品の新聞広告・雑誌広告や宣伝パンフレットの
中から、あなたが良いと思ったものを集め、それらをタスクシートに整理して下さい。



広告・宣伝分析

- 広告媒体
- 広告主（会社名）
- コピー
- 広告を通して訴えたいこと（訴求点）
- 良いと思ったところ

3. 販売促進計画を考えよう

【課題3】

以下の1～5のポイントを考慮しながら、今回のツアー企画に最適な販売促進（プロモーション）案をグループで立案しよう。



この販売促進計画は第11回の企画提案書に織り込むこと。

1. 狙う顧客層は……企画の対象とする客層は？ 一般的な客層か、ある特定の客層か。
2. 販売目標は……計画する販売計画の大小で、販売促進の規模や内容が決まります。
3. 販売網は………どのような販売ルートを選択するのも影響します。
4. 広告は ……実施するか否か、するとすればどの媒体に、どういう表現でするのかの広告計画の立案が必要です。
5. セールス・プロモーションは……パンフ・サンプル販売・デモ・コンテスト・懸賞などの諸策から今回取り上げるものを決めます。

4. Creative Meeting チラシを作成しよう

【課題4】

ツアー企画商品の広告（または宣伝パンフ）案をグループで検討し、チラシのドラフトを作成しよう。サイズはA4とし、表に商品のイメージを、裏には具体的なスケジュールや料金を入れて下さい。



【宿題】

- ・「販売促進計画」を次週の企画書に織り込めるように仕上げておく。
- ・各自、自分のチラシを完成させる。
- ・リソース集（pp. 14-15）読解「狙いは企画書」をもう一度読む。
- ・リソース集の第11回用読解教材（pp. 32-35）「採用される企画書を書くには」を読んで、必要項目、書式を押さえる。

第11回 企画書をまとめよう

◆ この回の目的・目標

1. グループで「企画書」をまとめる話し合いをする。
2. グループで実際に「企画書」を構成し、書く。

さあ、いよいよこのプロジェクトもまとめの段階です。これまでに調べてきたこと、検討してきたことなどを「企画書」にまとめていこう。

1. 採用される企画書とは

【課題1】



リソース集 (pp. 32-35)「採用される企画書を書くには」を読み、次の問に答えて下さい。

1. 採用される企画書には何が必要ですか？
2. 主張のある文章を書くにはどのようなことに気をつける必要がありますか？
3. 説得力を高めるにはどうすればいいですか？
4. わかりやすい企画書を書くにはどうすればいいですか？
5. 企画書の作成やプレゼンテーションで大切なことは何ですか？

2. ビジネス文書 企画書

【課題2】

企画書を書く前に以下の項目を検討して下さい。

1. この企画書の読み手は？
2. この企画書を書く目的は？
3. この企画書で読み手に何を伝えたいのか？
4. そのためには何を（内容）どのように盛り込めばいいだろう？
5. 説得力を高めるにはどのようなデータを盛り込めばいいだろう？
6. わかりやすく伝えるにはどのような工夫が必要だろう？

【課題3】



企画書を書く前に、リソース集（pp. 32-35）の「採用される企画書を書くには」に挙げられている「企画書の筋道」（ストーリー）5項目をヒントに、まずアウトラインを考えて下さい。

【リソース集（pp. 14-15）第6回読解教材「狙いは企画書」を参照】

- ・ アウトラインごとに執筆の分担を決めよう。
- ・ 企画書のタイトルを決定しよう。
- ・ 実際の企画書の書き方については、リソース集を参考にして下さい。

【宿題】

- ・ 「企画書」をグループで作成し、次回提出して下さい。
- ・ リソース集の第12回用読解教材（pp. 36-39）「プレゼンテーションのポイント」を読む。

Part 7 企画発表の準備をする

第 12 回 ツアー企画発表の準備をしよう

◆ この回の目的・目標

1. チラシの評価をする……社内コンペ。
2. プレゼンテーションのポイントを押さえる。
3. プレゼンテーションの準備をする。

1. チラシを評価する……社内コンペ

【課題 1】

第 10 回課題のチラシをグループで検討し、優秀賞を選ぼう。

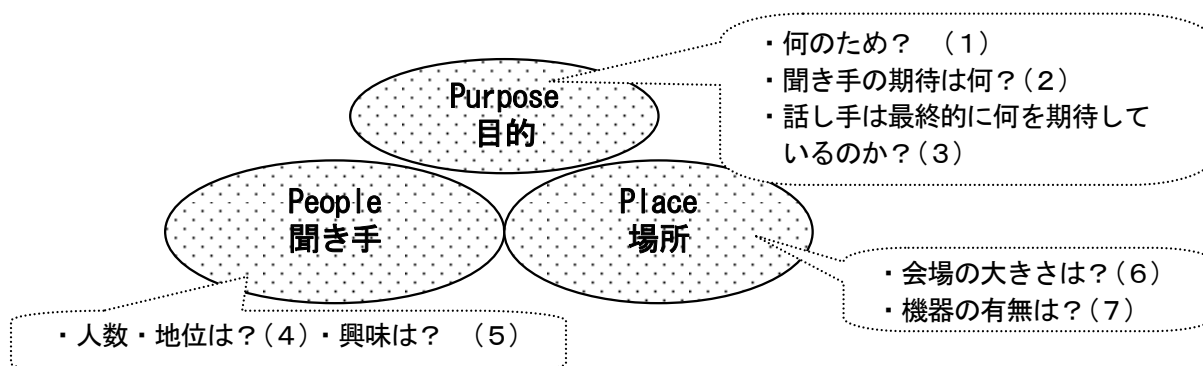
ヒント：構成要素・レイアウト・インパクト

2. プレゼンテーションのポイント

【課題 2】

リソース集 (pp. 36-39) 「プレゼンテーションのポイント」を読み、次の問いに答えて下さい。

1. 「伝える内容」だけではプレゼンテーションを成功させられないのは、どうしてですか。
2. 下の図はプレゼンテーションの 3 要件です。グループの企画書を基に、(1) から (7) までの項目について次ページのタスクシートに書いて下さい。



プレゼンテーションの 3 要件

— 3 P (Purpose・People・Place)

タスクシート

| |
|-----------|
| 目的 |
| (1) _____ |
| (2) _____ |
| (3) _____ |
| 聞き手 |
| (4) _____ |
| (5) _____ |
| 場所 |
| (6) _____ |
| (7) _____ |

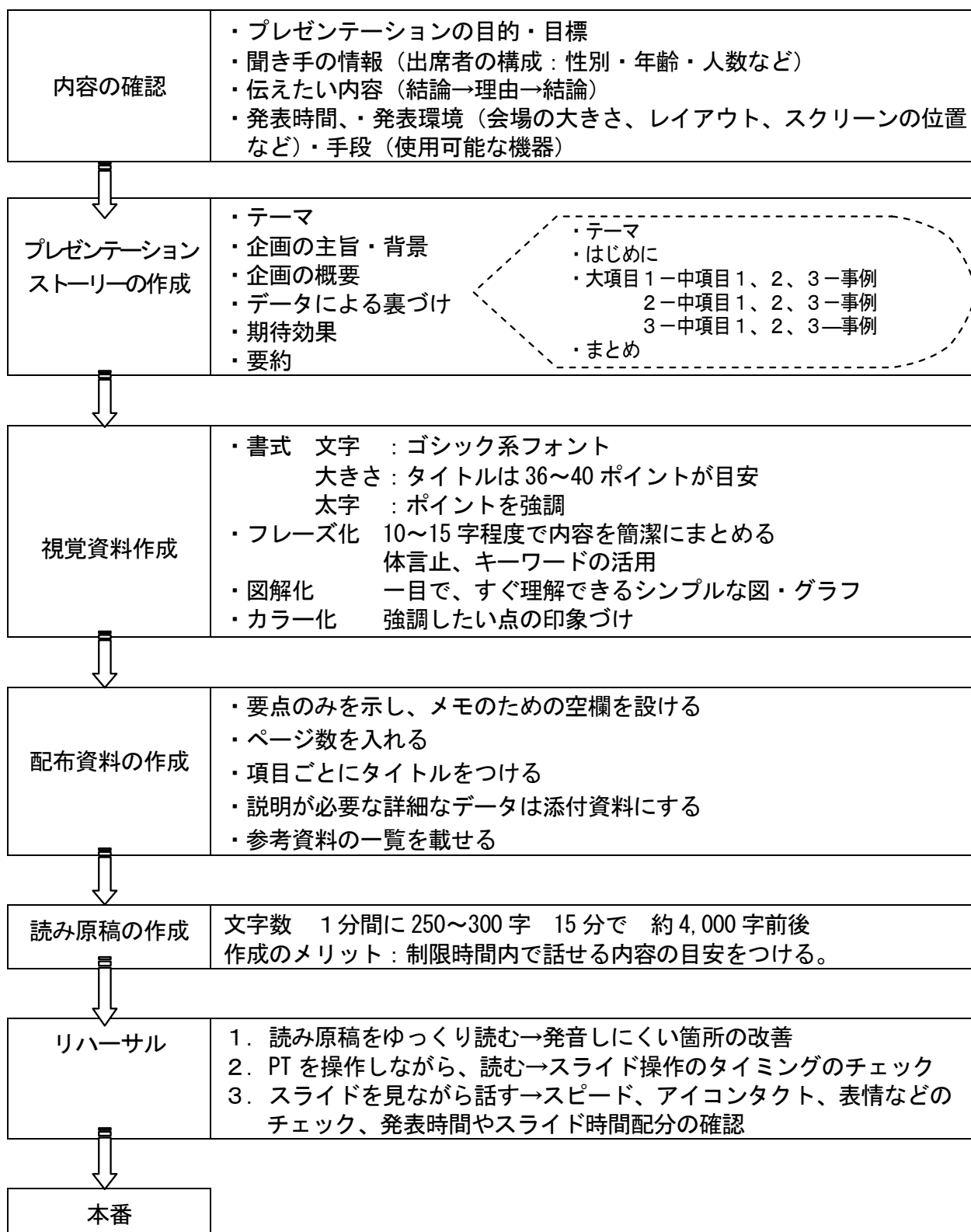
3. プレゼンテーションの準備

【課題3】

次ページの「プレゼンテーションの準備」の手順を参考にして、以下の項目について準備を始めて下さい。

- ・ 資料の整理
- ・ プレゼン用スライド作成
- ・ 発表の役割分担
- ・ 発表原稿の作成

プレゼンテーションの準備



【宿題】

- ・グループで発表原稿・プレゼンテーション用のスライドを完成させる。
- ・グループで配布用のチラシを完成させる。

第13回 ツアー企画発表のリハーサルをしよう

◆ この回の目的・目標

プレゼンテーションの練習をする。

1. プレゼンテーション準備の最終チェック

【課題1】

会場からの質問を想定し、答えも考えながら、プレゼンテーションの最終チェックをして下さい。

| 1～15までの項目について確認できたら✓を入れましょう。 | |
|------------------------------|--------------------------|
| 伝える内容 | 1. 伝えたい内容は明確か |
| | 2. 内容が整理されているか |
| | 3. 説得力のある論理展開になっているか |
| | 4. 時間配分は適切か |
| スライド | 5. スライドと話の内容が一致しているか |
| | 6. 裏付けとなる資料、データが入っているか |
| | 7. スライドは見やすいか |
| 資料 配布 | 8. 配布資料はわかりやすいか |
| | 9. 資料の量は適切か |
| リハーサル | 10. 声の大きさは適切で、聞き取りやすかったか |
| | 11. 話すスピードは適切だったか |
| | 12. メリハリのある話し方だったか |
| | 13. アイコンタクトができていたか |
| | 14. 表情・服装・姿勢は適切だったか |
| | 15. 聴衆にアピールできていたか |

宿題

- ・グループでプレゼンテーションの最終チェックを行う。
- ・グループで作成したチラシを次回のプレゼンテーション配布用に準備する。

Part 8 企画発表をする

第14回 ツアー企画発表のプレゼンテーションをしよう

◆ この回の目的・目標

聴衆に訴えるプレゼンテーションを行う。

1. プレゼンテーションを実施する

【課題1】

他のグループの発表を聴き、下の評価シートに記入して下さい。

プレゼンテーションの評価

学籍番号 _____ 名前 _____

タイトル：
グループメンバー名：

評価者：名前 _____ 所属 _____

他のグループのプレゼンテーションを聞いた後で、「A-いい」、「B-普通」、「C-あまり良くない」で評価し、企画案が成功するかどうかの判定をして下さい。

| 内容 | 話し方 |
|----------------|----------------|
| わかりやすかった A B C | 聞きやすかった A B C |
| おもしろかった A B C | アピールしていた A B C |
| 実行してみたい A B C | |

企画案は成功？

YES / NO

| スライド | | 配付資料 |
|----------------|--|----------------|
| 見やすかった A B C | | わかりやすかった A B C |
| わかりやすかった A B C | | |

コメント：

2. プレゼンテーションを振り返る

【課題2】



ゲストの講評を聞いて、グループ内で話し合い、自グループの企画案、プレゼンテーションについて、振り返って下さい。

振り返りシート

学籍番号 _____ 名前 _____

タイトル

グループメンバー

会場からのコメントや反応

プレゼンテーションの自己評価（S・A・B・C・D）とその理由

企画書（最終提出用）に反映すべきこと

【宿題】

- ・自分のグループの評価シートを完成させる。
- ・企画書、スライド原稿、発表原稿、チラシの完成版を次回提出できるよう準備する。

Part 9 評価

第15回 評価・振り返りをしよう

◆ この回の目的・目標

プロジェクト・ワークをグループで振り返り、評価する。

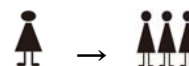
1. 成果物の提出

グループの企画書、スライド原稿、発表原稿、チラシの完成版を提出しよう。

2. 活動の整理

【課題1】

以下の項目について、各自考えグループ内で話し合ってください。



1. 各自の自己評価
2. 学んだこと
3. 身についたスキル
4. この研修に参加する前との変化

【課題2】

課題1で出たグループの意見を発表して下さい。



【課題3】

「プロジェクト・ワーク全体を振り返って」というタイトルで、400字以内で感想文を書いて下さい。



○監修

財団法人 海外技術者研修協会

○執筆者

堀井恵子 武蔵野大学大学院
人間社会・文化研究科 文学部 日本語・日本文学科 教授

鈴木洋子 武蔵野大学大学院 人間社会・文化研究科 准教授

高橋 薫 武蔵野大学大学院 非常勤講師

綱島珠美 武蔵野大学大学院 非常勤講師

向山陽子 武蔵野大学大学院 非常勤講師

村澤慶昭 武蔵野大学大学院 非常勤講師

村野節子 武蔵野大学大学院 非常勤講師

山辺真理子 武蔵野大学大学院 非常勤講師

※執筆者の所属は教材作成時（平成19年度）のものであります。

本教材は財団法人海外技術者研修協会が経済産業省より受託し実施した「アジア人財資金構
想・共通カリキュラムマネジメントセンター事業」の一環として開発されました。

監修

財団法人 海外技術者研修協会

〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

電話 03(3888)8211

<http://www.aots.or.jp>

2011年3月

©2011 The Association for Overseas Technical Scholarship (AOTS)

不許複製・転載